

# サイドブロック〈プレキャスト小口止ブロック〉

DL  
download

NETIS登録  
QS-140005-A

小口止め工をプレキャスト化  
ブロック積み工と小口止め工が同時に進行可能です。

特許登録第6151929号

平均明度  
※6.0

輝度の標準偏差  
30

※ハツリ模様に限る。

## ●特長

- 1.1段の高さを50cmに設定しているため、ブロック積みとほぼ同時に積み上げることが可能です。
- 2.サイドブロックを挟んで、擁壁の反対側も随時埋め戻すことが可能です。
- 3.サイドブロック1個の重量が100kg程度なので、積みブロックを施工する重機で施工可能です。

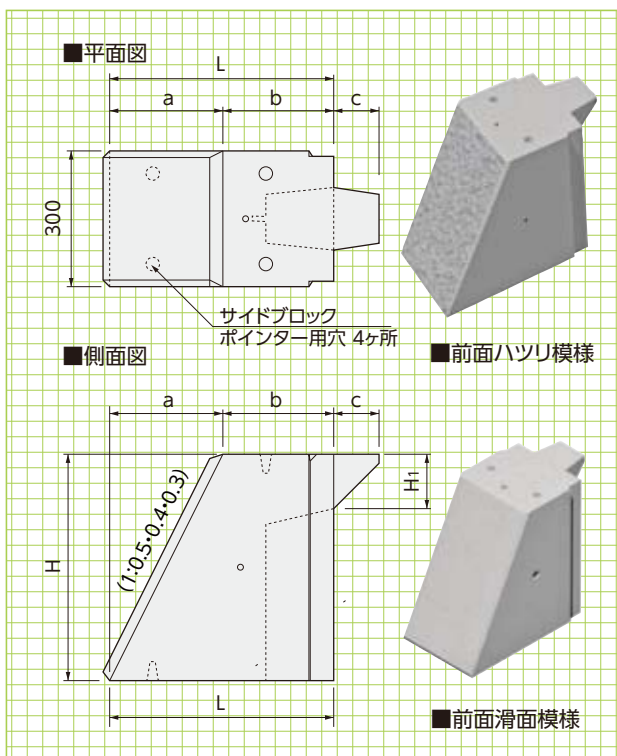


▲熊本県阿蘇市花原川

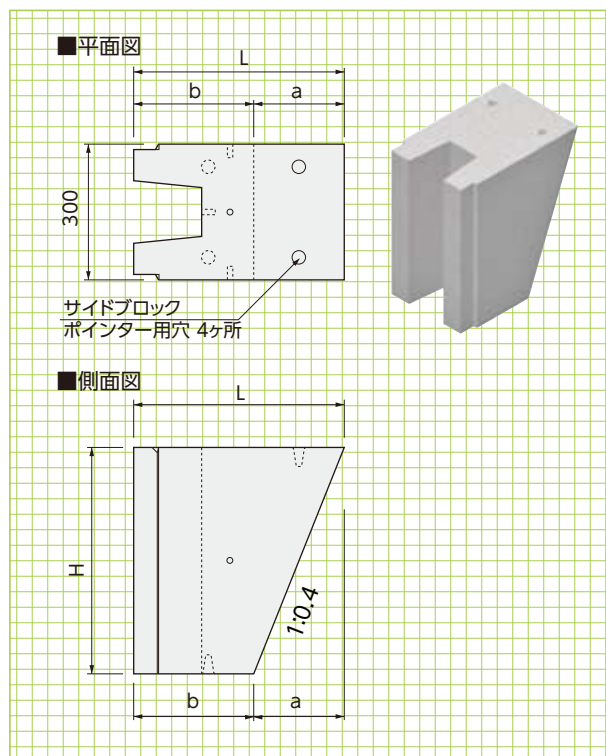
## 基本形状図

形状・寸法  
重量

### 前面用ブロック、4分用ブロック、3分用ブロック



### 背面用ブロック



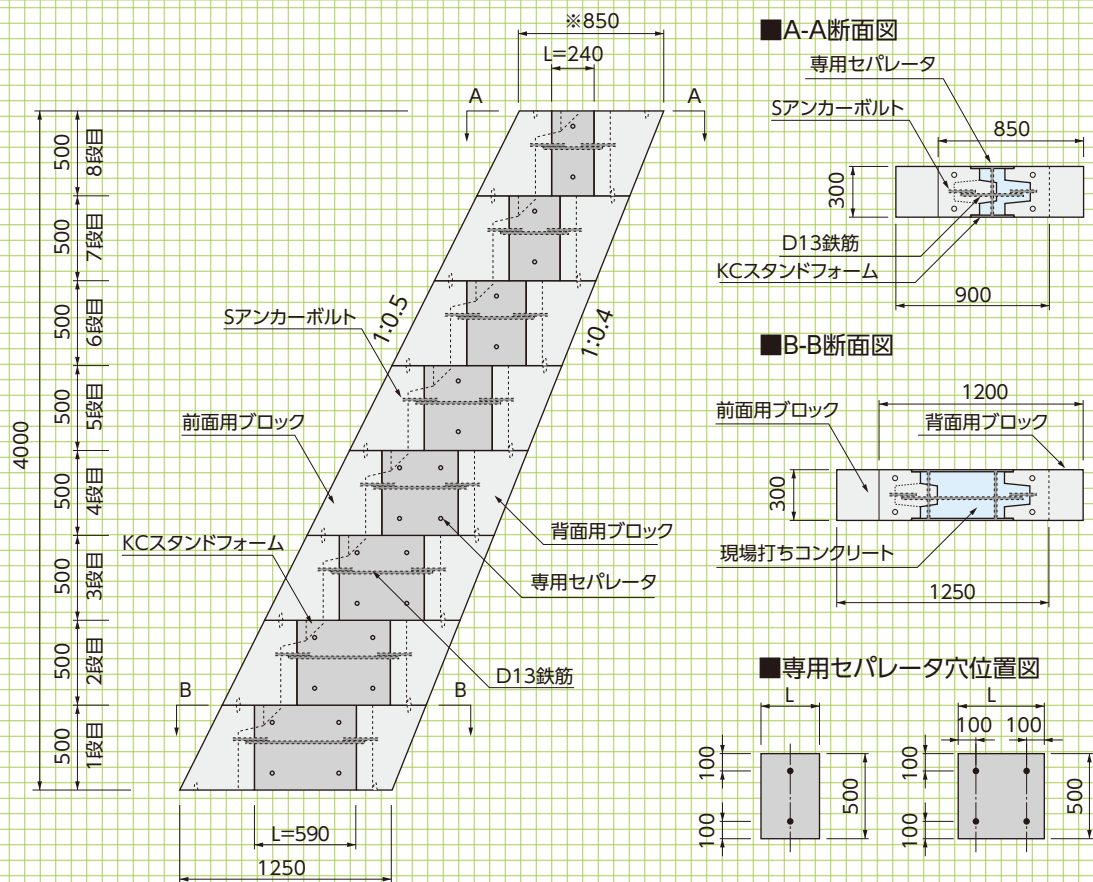
## ■寸法・重量表

| 呼 称     | 寸 法 (mm) |     |     |     |     |                | 参考重量<br>(kg) |
|---------|----------|-----|-----|-----|-----|----------------|--------------|
|         | L        | a   | b   | c   | H   | H <sub>1</sub> |              |
| 3分用     | 485      | 150 | 335 | 100 | 500 | 120            | 130          |
| 4分用     | 485      | 200 | 285 | 100 | 500 | 120            | 121          |
| 前面用(5分) | 485      | 250 | 235 | 100 | 500 | 120            | 113          |
| 背面用(4分) | 465      | 200 | 265 | —   | 500 | —              | 103          |

※前面用ブロックは反転して背面用としても使用できます。

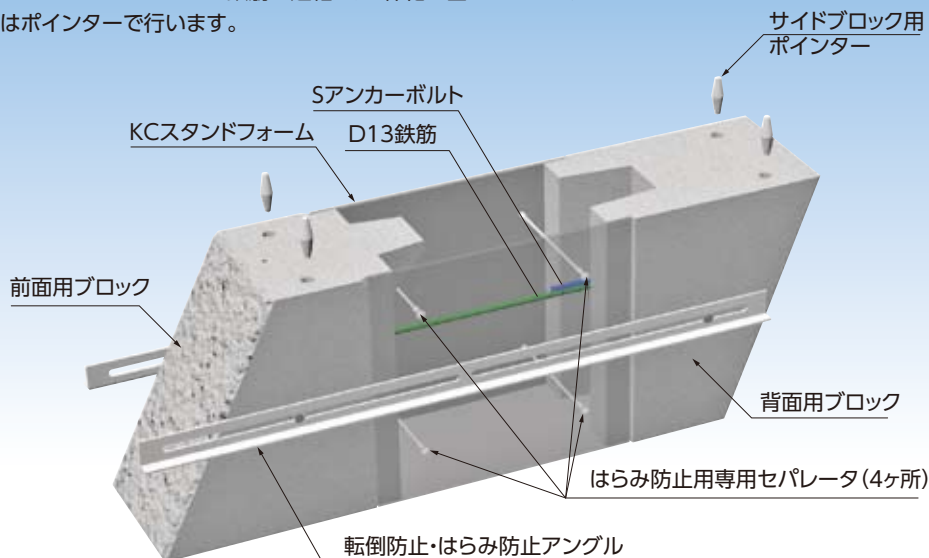
標準施工断面図

※天端奥行き850未満の場合、中詰コンクリートの打設が困難になりますのでご注意ください。



- ・専用セパレータ穴は、M6ボルトが通る径の穴を現場であけます。
- ・KCスタンドフォームの長さが400mm以上は専用セパを4ヶ所、650mm以上は6ヶ所取り付けます。

- 側壁は、現場打ちコンクリートとの付着が良好な「KCスタンドフォーム」を使用します。
- 「KCスタンドフォーム」の長さ調整カット、セパレータ用穴開けは現場加工となります。
- アングルで仮固定し、背面用ブロックが不慮の荷重で転倒するのを防止します。またアングルは側壁のはらみ防止も兼ねます。
- 中詰めコンクリートは、製品高さの8割程度打設し、製品の継ぎ目と打ち継ぎ面が合わないにします。
- 前面用・背面用ブロックからのアンカーを鉄筋で連結し、一体化を図っています。
- 上下の位置決めはポインターで行います。



標準施工断面図

擁壁類

管渠類

側溝類

道路関連

河川関連

貯水槽関連

構造図

浸透製品・基礎類

景観関連・その他